

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公表番号】特表2012-532353(P2012-532353A)

【公表日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2012-518898(P2012-518898)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

C 0 9 B 47/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/22

C 0 9 B 47/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビーム用フィルタ材料を製造するための複合物において、
該複合物には、

- シリコンと、
- 当該シリコンに拡散されている少なくとも 1 つの着色剤とが含まれており、

前記複合物は、400nmと700nmとの間の波長のビームに対して20%以下の相
対透過率を有しており、

850nmと1025nmとの間の波長のビームに対して50%以上の相対透過率を有
しており、

前記シリコンは、600nmないし1800nmの領域において熱硬化可能である、
ことを特徴とする、

ビーム用フィルタ材料を製造するための複合物。

【請求項 2】

700nmと850nmとの間にある波長のビーム用の前記複合物は、700nmにお
ける20%以下から850nmにおける50%以上に増大する相対透過率を有する、

請求項 1 に記載の複合物。

【請求項 3】

前記相対透過率は、750nmを上回る波長において跳躍的に増大して、当該相対透過
率が少なくとも2倍になる、

請求項 1 に記載の複合物。

【請求項 4】

前記着色剤は前記シリコンにおいて均一に分散している、

請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の複合物。

【請求項 5】

前記着色剤は、前記複合物において200μm以下の粒子である、

請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の複合物。

【請求項 6】

前記複合物は、溶媒黄色 179, 溶媒黄色 93, 溶媒黄色 114, 溶媒橙色 60, 溶媒橙色 107, 溶媒赤色 179, 溶媒赤色 135, 溶媒赤色 111, 溶媒赤色 195, 溶媒赤色 52, 溶媒紫色 36, 溶媒紫色 13, 溶媒青色 97, 溶媒青色 104, 溶媒緑色 3, 溶媒緑色 28 から選択された少なくとも 1 つの着色剤を含む、

請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の複合物。

【請求項 7】

前記複合物には、3 つのグループ I ないし III

I) 溶媒黄色 179, 溶媒黄色 93, 溶媒黄色 114, 溶媒橙色 60, 溶媒橙色 107, 溶媒赤色 179, 溶媒赤色 135, 溶媒赤色 111, 溶媒赤色 195, 溶媒赤色 52

II) 溶媒紫色 36, 溶媒紫色 13, 溶媒青色 97, 溶媒青色 104,

III) 溶媒緑色 3, 溶媒緑色 28

の 1 つずつのグループからの少なくとも 1 つの着色剤が含まれる、

請求項 6 に記載の複合物。

【請求項 8】

前記複合物には、ジアルキルシリコンおよび / または芳香族シリコンが含まれる、
請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の複合物。

【請求項 9】

前記複合物には溶媒が含まれていない、

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の複合物。

【請求項 10】

ビームをフィルタリングするための材料において、

請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項に記載の複合物を硬化することによって得られることを特徴とする、ビームをフィルタリングするための材料。

【請求項 11】

フィルタ材料用の複合物を製造する方法において、

A) シリコンを準備するステップと、

B) 当該シリコンを加熱するステップと、

C) ステップ B) のシリコンに着色材料を混ぜて拡散を発生させるステップと、

D) ステップ C) の拡散を混ぜて混合物を生じさせるステップと、

E) ステップ D) の混合物を 60 と 80 の間の温度に加熱するステップと、

F) ステップ E) の混合物を拡散して、フィルタ材料用の複合物を生じさせるステップとが含まれており、

ここで前記複合物は、400 nm と 700 nm との間の波長のビームに対して 20 % 以下の相対透過率を有しており、850 nm と 1025 nm との間の波長のビームに対して 50 % 以上の相対透過率を有することを特徴とする、

フィルタ材料用の複合物を製造する方法。

【請求項 12】

G) ステップ F) の複合物を表面に被着して層を形成する付加的なステップを有する、

請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記層は、その全面積にわたって同じ吸収特性を有する、

請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

850 nm から 1025 nm までの波長領域の波長の電磁ビームを放射するかまたは吸収するオプトエレクトロニクス構成素子において、

当該構成素子は、請求項 10 に記載された材料を含む構成部分または層をビーム路に有することを特徴とする

オプトエレクトロニクス構成素子。

【請求項 15】

前記層または前記構成部分は、昼光フィルタである、
請求項 14 に記載の構成素子。